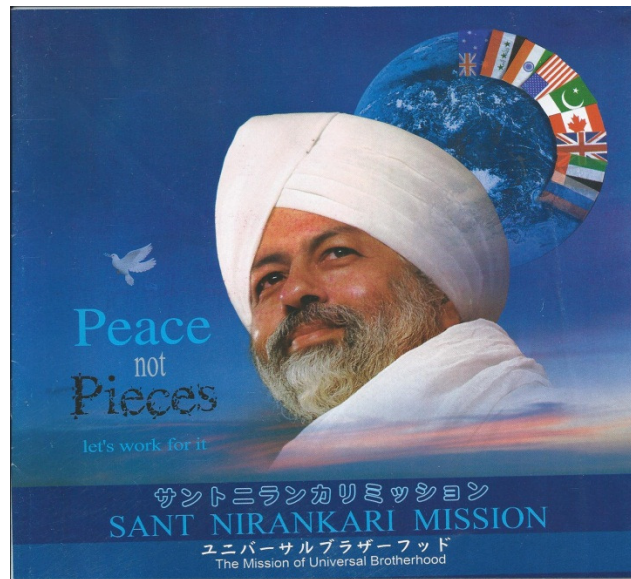


ピース（バラバラ）ではなく ピース（平和）に。
そのために努力しましょう。
サントニランカリミッション
ユニバーサルブラザーフッド伝道団体（ミッション）



ピース（バラバラ）ではなく ピース（平和）に。そのために努力しましょう。サントニランカリミッションは、一般的にユニバーサルブラザーフッド（世界は兄弟）として知られています。サントニランカリミッションは、愛、平和、そして人間間の兄弟愛に捧げられたすべてを抱擁していく霊的な運動です。霊的な目を覚ますことで、ミッションはお互いますます人間同士が切り離されていく弊害に打ち勝とうとしています。ミッションの中心にある前提は、このような霊的な目覚めは啓発的な状態で個人生活をおくっている霊的な導師（グル）と結びつくことで可能になるということです。

すべての宗教への高い関心とスピリチュアルな動きの中で、ミッションは『真の宗教、真の統一には決して対立はない』という信念に基づいて、創設されました。そこにはスピリチュアルな知識の泉の源であり、今日のミッションのリーダーである、ニランカル ババハルデブ シン氏の言葉があります。ババ氏は個人を取り除くことや、一様性を産み出すことを求めず、むしろ多様性の中での統一を促し、褒めたたえています。

ニューデリーに国際的な支部のあるミッションは、すべての文化、異なる社会グループや宗派の人々を、共にするために導き続けています。

ミッションの簡単な歴史

ミッションは、ババブタシン氏が 旅行を重ねる中で個人的な小さなネットワークに靈感を受け、真実の声をあげ、1929年にペシャワール（現在のパキスタンに位置する）で始められました。彼の最も献身的な弟子ババアビタル シン氏につき添われ、人類へのメッセージを共にするだけでなく、彼等の人生の質を改善するために、日夜道徳的で勤勉な仕事に励みました。1943年には、ミッションをさらにすすめて行くために、その責任はババアビタルシン氏に継がれました。彼の教えは献身者たちに強い靈感を与え、それらは彼の終生に渡ってサムプランアビタル バニと名づけられ、宗教的な文章の形をとり編集されました。その著述は散文で書かれていますが、この地球上に正しく生きるその本質を結晶化したもので、簡潔でありながら、非常に心動かされる言葉をもって書かれたものです。



1962年にババ アビタルシン氏は、ババ グルバチャンシン氏を明白なスピリチュアルのマスター（霊的な師）として宣言し、彼自身は学問分野への生活に戻るとの注目すべき決断をしました。ババグルバチャン シン氏は既に献身的な伝導師として慕われていましたが、ほとんど世界のすべての大陸において、信奉者たちを確立し、その教えを初めて海外にまで広げました。彼は社会福祉の事項を最優先し、あらゆる種類のコミュニティーの援助の仕事、救済作業、そしてチャリティ活動をするために、ミッションの自発的グループである『セワダル』（Sewadal）を設立しました。ババ グルバチャン シン氏の高貴な動機による貢献には、測りしれないものがあります。

ババハルデブ シン氏は何百万人もの信奉者たちを従えた、地球上で現在2000以上の支部（サトサンバワーズ）をもつ、今日のミッションのスピリチュアルリーダー（霊的な師）です。支部は慈善的な活動を率先し、社会とコミュニティーへの奉仕とボランティア活動を通し、平和的共存、普遍性、内的宗教的調和、そして平等性を常に伝えています。



ババ氏は人生のすべての歩みを人々と出会うために使い、ほとんどの時間をそのための旅に費やしています。彼は社会の上層部の人々と共に過ごすとともに、等しく草の根のレベルでも人々と接しています。どの一個人も神の神聖さに参加していないと感じさせられることはありません。彼は人間的な生活を広めるため、下に踏み付けられている者

と、ハイプロファイルの官僚や政治家、学問の文野のリーダーたちとを結ぶ媒介者として、奉仕しています。

ババ氏は彼の愛と同胞のメッセージを伝えるために、多数の人々の集まる数々の会合を統括しています。出席者は陽気で自由な雰囲気で行われるスピーチ、詩、賛美歌、歌唱などの形の活動にも参加します。これらの集まりは、多様性の中でユニークな統一を産み出し、地球上を通じさまざまな異なる地域で催されています。さまざまな地域、州、国、大陸から人々は集まり、何百万人もの人々が、人生の高潔な道を祝福します。その人生とは、階級、人種、そして宗教の分断をこえている神の神聖さによって命じられるところのものです。



聴衆はババ氏と共に、静かで、構成された、落ち着いた雰囲気を創りだします。そこで人々は、ババ氏の単なる言葉を超えた一つの言語で語られる、彼の知の教授を待ちながら、神聖な静寂さの中に座ります。皮肉なことには、人々は話されている言葉の恩恵を受けなくとも、正確に言われていることを理解します。なぜでしょう？なぜなら、ババ氏が話しているのは、愛の言語だからです。

性の平等性

ミッションは性の平等性を促進しています。それはババ氏が会合を開く時に、必ずババ氏のお母様と奥様が、彼の横にともに座ることによって、明確に示されています。あらゆる背景の全ての人々の中の平等性が、常に行われています。女性は実際に、ミッションがイニシアティブをとることによって、権限が与えられています。女性たちは、彼女たちの社会での能力と地位を向上させるため、公けの場での発言、主張に積極的に関与することを、奨励されています。このようなことは、詩や暗唱、聖歌の歌唱そして公けでの話しかけなどの形をとって、その表現が激励される伝統的な集まりを共にすることを通じ、ミッションがそのプラットフォームをつくりだしています。このような先導的な力の結果として、多くの CDカセットや、デジタルレコーディングが、名誉としてつくられてきました。



若者への権限

これは尊敬、名誉、尊厳、そして寛容といった不滅の徳を、若者が学べるデリケートな年齢から始まりますこれらの徳は立派な市民となるためのしっかりとした基礎へ向かって、自然と流れていくものです。ミッションは数えきれない若者向けのプロジェクトを運営していますが、これは単に彼等に物質的な楽しみを与えるだけでなく、精神的な必要のためにも計画されています。

小さい子供達は、多くの慈善活動のための募金活動に、参加しています。青少年たちは、積極的にさまざまな食事の供給に、援助の手をかしています。またさまざまな慈善組織、2、3名前をあげると、Help The Agedや the Salvation Armyなどと共に、活動しています。これらのプロジェクトは、子供達の自己表現を鼓舞し、また維持させ、社会への積極的な行動を促します。ミッションの哲学は、できるだけ楽しみながら学ばせるために、スポーツや演劇的な活動を通して演じられます。



国連のミレニアムデベロップメントの目標にそってみると、ミッションはすでにどんなことをしても学ぶことへのアクセスのない人々への教育対策を、実施し始めています。初等、中等、高等学校、そして大学はすでに開始され、推奨される結果を産み出しています。



多くの人々、特に排斥された、貧しいひとびとに教育をもたらすさらなる運動へのパイプラインとして、多くのその他のプロジェクトがあります。これらの最近の率先した活動としては、人生のメインストリームから、完全に切り離されたインドの人里離れた山岳地帯に、一人教師学校をおこしたことがあげられます。

青年の後半期には、地球上を渡り展開される、彼等のそれぞれのキャリアを通じて、ミッションは若者達を導く、エンパワーメントなコースに若者達が関わっていくように導いています。

芸術、文化、舞踊の促進

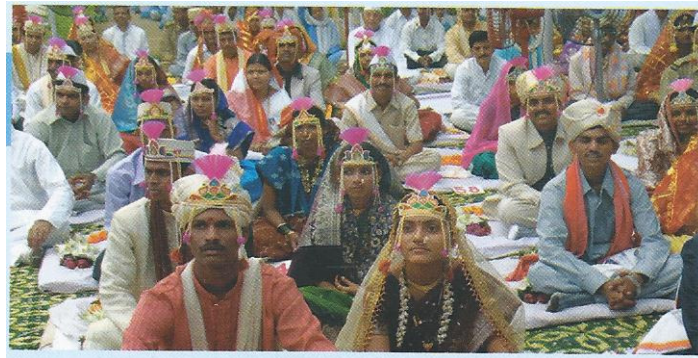
芸術と文化の重要性もまた、ミッションによって認識され、奨励されています。宗教的な集まりや会合に関しては、音楽を伴わなければ、それは完全ではないとされています。古いものや新しい楽器の演奏が教えられ、古代の伝統を高め、息づかせるために使われています。

芸術、文化、舞踊の促進



シンプルマリッジ

社会的結合と平等性のために、結婚もまた簡単で、持参金から解放されたものが、インドでも海外でも、行われてきました。これらの改正の効果によって、特に幸運の少ない多くの人々への重荷が軽くなりました。これは、多様なコミュニティの無差別を可能にしていっただけではなく、具体的な効果がみられています。今まで存在していた容易に絶えなかった差別は、神の神聖であるババ氏によって、格調高く消されてきています。



会議とセミナー

神の神聖であるババ氏は、世界に平和をもたらしようとする、異なる信念の間の相互理解を促進するための会議を、先頭をきって、進めてきました。これには、平和的な共存と普遍の救済（ユニバーサリズム）や、ヒューマニティーと国際的な友愛のものと の 繁 栄 などのセミナーも含まれています。

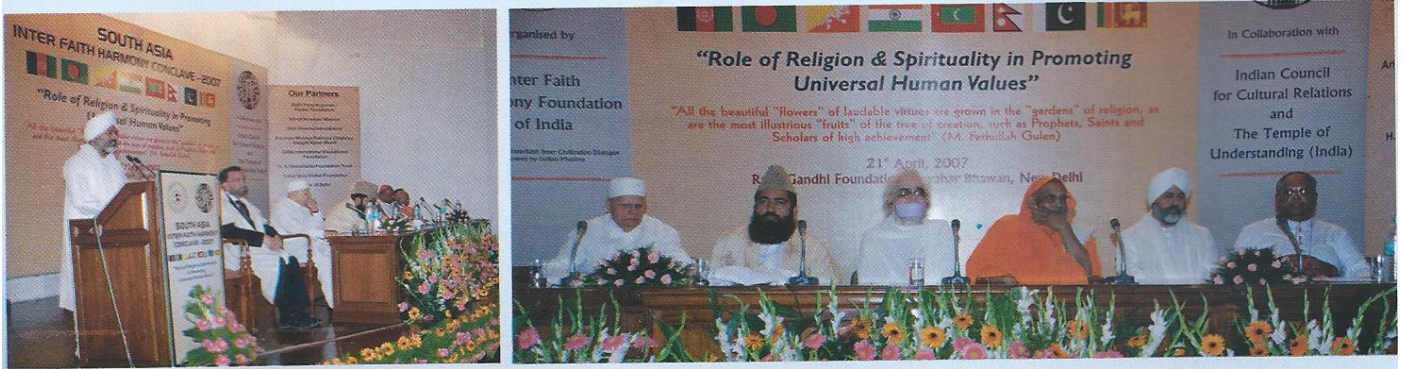


南アジアインターフェイスハーモニーコンクラーベ

2007年4月に、神の神聖であるババ氏は、インドの総理大臣マンモハンシン氏によって始められた、南アジアインターフェイスハーモニーコンクラーベに参加しました。世界的な人間の価値の促進のための、精神的な役割を討論するために、世界のさまざまな信念の、著名なリーダーたちが、この機会に出席しました

この会議において、ババ氏は、『この世には、ただ一つの宗教がある、それはヒューマニティー（博愛）の宗教である。』ということを論じました。ババ氏はすべてのスピリチュアルなリーダー、グル（師）、そして予言者のメッセージは、普遍的なものであり、一人一人に意味をもつもので、これは一緒になって伝導されるべきものだ と 提 案 して います。真の宗教は結合し、決して分割されることがないので、それぞれの宗教は、人と人の距離を取り除き、ヒュ

ーマニティー（博愛）を分断する壁をはらい、人と人が結びつくための努力をすべきです。ババ氏は、これが今日の世界のさまざまな宗教の、いかに期待される場所であるかを論じました。



もし宗教が人類を分断する壁を建てるためのものとなるなら、その時は宗教は非常なパラドックス（逆説）となり、深刻な自己矛盾となります。ババ氏は、私達は平和をつくるもの（ピースメーカー）となるべきで、平和を壊すもの（ピースブレイカー）となるべきではないと、忠告しています。これはさらに拳をもって握手することができないことを、私達に思い出させます。私達は、人々を迎えるために手をのばす前に、拳をまず開けていかなければなりません。これが今日私達に必要なとされていることで、この作業は社会において発言権を持つすべての人々によって、なされていかなければならないことです。

神の神聖であるババ氏は、2007年9月20日にロンドンで開催されたコーポレートガバナンス？→ガバナンスの第8回世界会議にも、就任しました。そこでは急速に変化する経済環境の中で、グローバルな統治の抱える様々な問題を、著名な多くのリーダーたちが解決のため動きました。

献血

神の神聖であるババ氏は、ミッションのリーダーシップをとって以来、若者から年輩の人々へ献血をするように勧めてきました。社会的無秩序と犯罪の結果を見ていった時、血液は路上に流されるものではなく、人間の血管の中を流れるべきものだというのが、ババ氏の願いでした。さらにはWHO（世界保健機関）の示す世界中の国立血液銀行の大量の血液不足から、献血の必要性を実感し、ババ氏は私達すべては『一つの地球家族として、血を与える』べきだと教えました。このような考えは、現在ミッションを質、量ともにインドの年間の献血の先導的な提供者にしていき、世界中で定期的に行われています。この独自の貢献は、赤十字が社会に大きな違いをもたらすこの種のミッションとして、大きく注目した他にも、中央と州政府からも承認を受けました。献血の精神は、ニランカリの献身者の血の中にあります。



さらなる健康への率先的な活動

ミッションはその支部の中に、フリーヘルスクリニックを常設し、また無料診療所も管理しています。これらは、ヘルスキャンプにまで及び、そこでは緊急の食事の必要性や、栄養、ホメオパシー（インドの漢方療法）やヨガなどの選択的なセラピー（治療）に関して、人々に知識と情報を提供するための訓練を、若者たちにしています。アイキャ

ンプ（眼科の診療キャンプ）は、ババ氏の指導のもとミッションのボランティアの専門眼科医たちにより提供され、無料で診察が行われます。



救済活動

救済活動は定期的にミッションのボランティアによって実行され、特に世界中で天災の被害をこうむった地域でおこなわれています。これらの天災時には、ミッションは経済的な面と、人員の派遣の両面において、援助をおこないます。グジュラート州が地震に見舞われた時、ミッションは総理大臣の災害基金に貢献しただけではなく、避難救助活動を行い、地震によって移住させられた人々をサポートするために、ボランティアたちがそれぞれの仕事から休みをもらい活動しました。ここにおいて神の神聖は、一つの町全体を再び再興する『リビルド、リハウス』（再建し再築する）のプロジェクトの先駆者となりました。

南アジアの津波時には、マレーシア、タイ、アンダマンとニコバル諸島にある支部において、非常に必要とされた食料、避難所、そして応急手当等が、供給されました。さらに有力なボランティアたちが、疫病や感染の勃発を食い止めるために、災害で亡くなった人々の遺体の収集と処理のため、その地域の諸機関の手助けもしました。

環境

ババ氏は私達の周囲の環境は汚染されているが、私達は汚染から自由なマインド（精神）をもたなければならないと教えています。貧しさや、負債、天候の変化などの事柄に関与した責任のある生活に基礎をもつ、数えきれない指令があります。ミッションは近年環境管理に関する世界会議に参加しました。率先した植樹活動は、私達すべてが生きる世界を保持していく道筋として、共通に与えられています。ババ氏はこの問題に関心をもち、インドのニューデリーの広大なエリアを開発し、以前は沼地で蛇の荒し回るような場所を、自然の美しいすばらしい場所に変えました。そして実際、今それらのエリアは観光客に魅力的な場所として、有名になっています。そのエリアはサントクサロバー（Santokh Sarover）として知られ、美しい植林や遊歩道があり、沐浴を行える安息所となっています。近年ジャーニー ディバイン（Journey Divine）と名づけられたハイテクの博物館が、その敷地内に展開されています。



結論として

ババハルデブ シン氏は平和と調和そして共存を確立するために、たゆまぬ努力で働いている、現存のスピリチュアル

グル（精神の師）です。ここに見られるように、私達が一つの地球家族として、互いに愛し合おうというメッセージを強めるため、パパ氏が達成している先導的活動は数えきれないほどあります。

